

あじさい 137号

長崎県手をつなぐ育成会島原大会開催!



シンポジウムでは長崎市育成会の田川春子さんが「私の思い」というテーマで、陽香里工房通所、GH十人町入居に至るまでのご自分の葛藤や意思決定について発表されました。

平成30年9月29日に島原復興アリーナサブアリーナにて第32回長崎県手をつなぐ育成会島原大会が開催され、本人決議を長崎市育成会本人部会FICS会長の山本カズ子さんを含む県育成会の本人部会「長崎きずな」の代表が堂々と読み上げられ、会場は大きな拍手に包まれました。

ボウリング大会開催



育成会ボウリング大会が大橋町ラッキーボウルにて開催され、31名の本人、会員さんがプレイを楽しみました。

短期入所って?!

11月の定例会のテーマは「短期入所」質問や意見がいっぱい!



もくじ

- 短期入所ってどんな感じ?
- きらり
- 育成会ing
- 島原大会報告
- 福祉懇談会報告
- ハートセンター文化祭&ボウリング大会報告
- お知らせ

短期入所 (ショートステイ) ってどんな感じ？

みなさんは短期入所 (ショートステイ) という障害福祉サービスを利用されたことはありますか？
 長崎市育成会ではグループホーム十人町に1部屋 (女性のみ)、ライフ西北に1部屋、ケアホーム三京に4部屋、ケアホームさくらに1部屋、短期入所用に計7部屋を提供しています。
 11月の定例会では育成会グループホーム事業の長島所長を招き、「短期入所 (ショートステイ) ってなに？」というテーマで話をしましたが、半数近くの方は「利用したことはない」と言われていました。利用していない理由としては「学校を卒業したばかりで、まだ考えられない」、「体験してみたいが本人が気乗りしない」「今は必要ない」「親が手放せない」などの理由でした。

短期入所とは？ 自宅で本人をお世話している方が病気などの理由により世話をを行うことができない場合に、障害のある方に障害者支援施設や児童福祉施設等に短期間入所してもらい、入浴、排せつ、食事のほか、必要な支援を行います。

どんな人が使えるの？ 障害支援区分1以上である障害者や障害の程度に応じて厚生労働大臣が定める区分における区分1以上に該当する障害児。

短期入所利用のようす

GH十人町初利用の藤本紗弥さん: お気に入りの音楽を聴いたり、持ち込んだゲームをしたり、普段と変わらない生活が出来たことでリラックスして過ごせたそうです。



「みんなと食事して美味しかった。栄養を考えて食べた。」と帰宅後報告されたそうです。



ライフ西北利用の前田暁さん: こだわりが多い暁さんは利用に合わせて好きな携帯テレビ、地図、ラジカセなどを持ち込み、部屋ではのんびり落ち着いて過ごせたそうです。



名残惜しい？ 帰り支度をする暁さん



歯磨き支援のようす



ケアホーム三京利用の小崎雄大さん: 数回の利用で慣れて食後の後片づけもスムーズです。

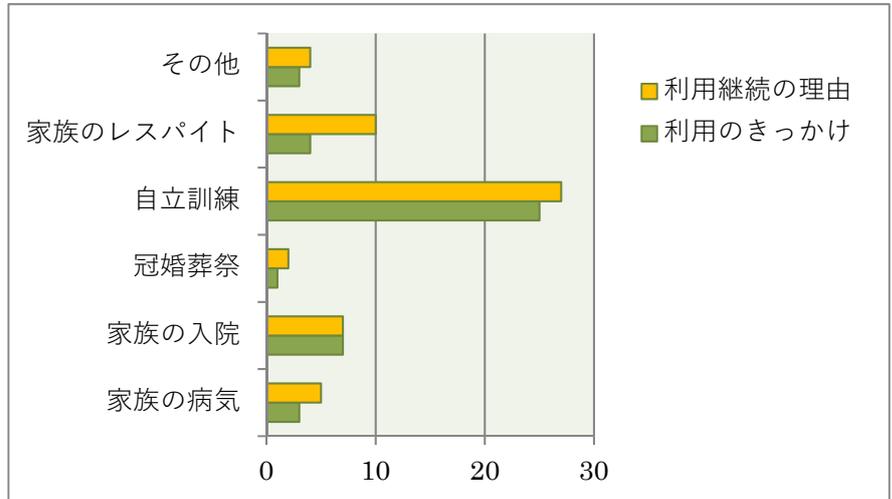


利用前は気が進まない様子が見られるそうですが、利用中は大好きな地図や時刻表を見て笑顔の雄大さん。

みなさんがどのような理由で使われているのかを知るために、最近育成会のグループホームで短期入所を利用された方を中心にアンケートを行いました。(37名より回答)

ご利用の方は、年齢で言うと20～30代が8割、手帳の等級で言うと全体の7割が手帳Aの方でした。ご利用の理由は自立訓練(家を離れる練習)が最も多く、もしもの時に備えて利用されている様子がかえります。しかし、継続して利用

されている理由となると入院や病気よりも親や家族のレスパイト(休養)を理由に挙げる方が増え、また本人の希望やきょうだいの行事や出産なども理由として上がっていました。短期入所前後の本人の様子は「楽しみにしている」「変わりはない」、帰宅後も「機嫌がいい」という答えが多く、利用前は「嫌がっている」と答えた方もいましたが、帰宅後「不機嫌」と答えた方はいなかったので、行く前は不安でも、行ってしまえば落ち着いて過ごし、気分良く帰宅されているようです。



短期入所へのご意見・希望(アンケートより)

- ・Wi-Fi やインターネットの設備がほしい
- ・冬場は床にマットか座布団がほしい
- ・送迎サービス
- ・退屈しないよう日中活動の充実
- ・移動支援の利用が可能になれば…
- ・短期入所中の様子が分かるような連絡帳やチェックリストがあれば…
- ・部屋にビデオデッキの設置
- ・受け入れ数の拡大
- ・簡易ベッドを普通のベッドに
- ・突然家族が支援できなくなった時に備え、本人はもちろん支援者もわが子のことを把握してくれる場所があればと思い利用している。その間親もリフレッシュ!
- ・ありがたい!でもなかなか希望の日が取れないときもあり、急病の時など心配

家族のリフレッシュとしても助かっていると声が聞かれる一方で、土日など休日に利用された場合、日中支援がないところ(ライフ西北では休日の日中支援がない)では朝には帰宅しないといけないため、ヘルパーの利用ができるようにしてほしいという声(自宅でないため制度上使えない)や長い時間を過ごすのが難しいため退屈してしまうという声もありました。定例会では「慣れるにつれこだわりが出てしまい、それを事細かに連絡帳で報告されるのが親のストレスになり、利用しづらくなった。」「大学生になった姉の外泊をショートステイだと説明していたら、自分も大人になったら行くものだと思います。」「短期入所中にする洗濯物の乾き具合が気になってストレスになっている」など短期入所にまつわるいろいろな話が聞かれました。また、「利用したいけれど本人が嫌がる」という意見が多く聞かれましたが、相談支援専門員でもある長島所長は「行きたがらないのを無理に利用しなくても、もしものときは担当の相談支援専門員に頼ればいい。でも自分たちの情報収集も大切。」と話されました。アンケートの希望にもありましたが、以前より希望した日に使えないなど数の不足の声もあり、それを受け育成会では短期入所専用棟を建設予定です。(詳しくは育成会ingを参照)焦って利用する必要はありませんが、ご本人の様子を見ながら見学などされてみてはいかがでしょうか?

き ら り

今回の「きらり」はスペシャルオリンピックスの愛知大会に参加された井口奈都子さんと長崎県手をつなぐ育成会島原大会で発表をされた田川春子さんをご紹介します。

井口奈都子さん



金メダルを獲って家族やお友達、就労先の職員さんたちに「おめでとう」と言われたことと、フィギアスケートの安藤美姫さんや小塚崇彦さんと一緒に写真を撮れたことがうれしかったです。

9月22~24日、「超える 喜び」第7回スペシャルオリンピックス愛知が開催されました。長崎からもたくさんの会員が参加され、皆さん素晴らしい成績で帰路につきました。井口奈都子さんも日頃の頑張った成果を発揮して背泳50mの部門で見事金賞を獲られました。練習では、少しでもタイムを縮めることを意識しながらも、楽しく練習しているそうです。

井口さんはまた、育成会の色々な活動にも参加されており、フラワーアレンジメント教室では、花の名前や特徴について勉強したり、書道教室では四季折々の言葉やテーマに沿った課題を何度も練習して素晴らしい作品を作り上げていらっしゃいます。

安藤美姫さんや小塚崇彦さんと



田川春子さん



9月29日長崎県手をつなぐ育成会島原大会が開催され、意思決定支援のシンポジウムで田川春子さん（陽香里工房・グループホーム十人町）が「私の思い」というテーマで発表されました。

発表を頼まれた時は「イヤだな〜。」って思ったけど、みんなが発表してって言うから頑張ろうと思いました。発表する前はドキドキしたけど、終わったらホッとして早く帰りたかったです。

お母様やご兄弟の入院もあり、ヘルパーさんやご親戚の力も借りながらひとり暮らしも経験された田川



さんですが、今はグループホーム十人町に入居され、日中は陽香里工房に通われています。最初グループホームの入居を勧められた時は家で暮らしたいと断ったそうですが、短期入所で体験を重ねるうちに、十人町を気に入って入居を決めたそうで、「ホームのみんなが家族です」と発表を結ばれました。ホームでは「春ちゃん」と呼ばれ、お姉さんのような存在でみなさんに慕われる人気者だそうです。短期入所で来た人には食事やお風呂の声かけをしたり、入居者の水筒に氷を入れてあげたり、服装のアドバイスをしあげると、とっても世話好きな頼られる存在の田川さんですが、自分より年上の入居者にお姉さん扱いされ、「あなたの方が年上でしょう!？」と突っ込む一面もあるそうです。先日は全員仮装してハロウィンパーティーをしてとっても盛り上がったそうで、ホームでの楽しい様子が伝わってきました。

育成会 ing

～～ケアホームさくら短期入所棟の増築工事が始まります～～

三京町にあるケアホームさくらの短期入所棟の増築工事が12月からいよいよ始まります。平成26年に開所したケアホーム三京と合わせて、短期入所へのニーズが高いため、5名定員の短期入所棟を来年4月開所を目指して増築工事が始まります。これまでの経過、今後のスケジュールは下記のとおりです。

- 平成30年10月17日…増築工事入札会終了 (株)森美工務店落札
- 平成30年11月1日…工事着工
(建設材料が遅れているため実際は12月から本格着工)
- 平成30年11月6日…地鎮祭終了
- 平成31年3月29日…工事完了予定

平成31年3月31日をもって、

～育成会ケアプランセンター(居宅介護支援事業)を廃止します～

平成18年に開所した育成会ケアプランセンター(居宅介護支援事業)は、当法人初の介護保険事業です。当初は、主に会員(親)の高齢化に対応するためという目的で開所し、同年に同じ介護保険事業として訪問介護事業も開所しましたが、会員の利用は予想をはるかに下回ったまま現在に至っています。事業開所以来、単独事業としては赤字経営が続いています。最近では、障がい利用者本人の65歳問題という新たな課題もありますが、利用拡大とまでは至っていません。昨年度末をもって廃止した訪問介護事業と合わせて、数年前からこの居宅介護支援事業についても、人事異動や事業廃止などの検討を行ってきました。そういう中で、①開所以来の累積赤字、②大きな介護保険事業併設でないため業務が非効率、③利用者が増えないため今後も単独事業としての黒字化が見込めない、④障害分野での相談支援事業の充実、といったことを総合的に判断した結果、今年度をもって廃止することにしました。

長い間、利用してくださった方々、関係機関の皆様には大変お世話になりました。また、現在利用されている利用者様については、サービスの滞りが発生しないように誠意をもって努めてまいりたいと思います。

その他の法人運営事業(障害福祉サービス事業等)につきましては、継続して運営しておりますので、今後とも一層のご支援ご協力をお願いいたします。

第32回長崎県手をつなぐ育成会島原大会開催!



9月29日(土)島原復興アリーナにおいて第32回長崎県手をつなぐ育成会島原大会が開催され、長崎市より81名が参加しました。「伝えよう自分の願いをくみ取ろうあなたの思いを 実現しよう自分の夢を応援しよう 島原がまだす大会」というスローガンを掲げ、意思の表出が困難な人にも意思はあることを前提とした意思決定支援がどうあるべきかをテーマに、

上智大学教授大塚晃氏の講演や本人や支援者が登壇してシンポジウムが行われました。大塚氏の「意思決定支援」の講演では「誰にでも意思があることを想定すること。本人のせいにするのではなく受ける力がない自分たちに非がある。ほんとうに意思を汲み取る努力をしているのか?」など意思決定に関して様々な角度からのお話がありました。また、シンポジウムでは長崎市育成会の田川春子さんが、「私の思い」という題で、陽香里工房通所・グループホーム十人町入居に至るまでの自己決定とその時々のご自分の思い、それをサポートして来られた相談支援事業いんくるの長島所長が田川さんへの意思決定支援について発表されました。



第50回長崎市障害者福祉懇談会が開催!



11月20日(火)、長崎市障害福祉センターにて平成30年度第50回長崎市障害福祉懇談会が開催されました。この懇談会で各障害者の団体から長崎市の障害福祉に関して事前に挙げられた要望について、長崎市から回答をいただきます。出席された田上市長からは「この会も昭和、平成と50回を重ねましたが、新しい元号になっても一緒に歩んでいきましょう。」と挨拶がありました。長崎市育成会からは「現在親が病気やけがで通学・通所の介助ができない場合、特例として移動支援が認められているが、これを恒常的に通学支援としての事業を展開して

ほしい。」という昨年からの継続と新規として「障害福祉課の事務手続き等の迅速化」について要望を出しました。通学・通所の利用拡大に関しては難しい面があるが、義務教育を受けるための「通学」という視点に立ち、どのような対応ができるか具体的な検討を行っているという回答がありました。迅速化については遅延に関するお詫びの後、制度により審査決定の方法の違いから事務手続きに要する時間には差があり、一定の時間が必要なこと、近年申請等の件数が増加していることなどを理由に挙げられ、事務の効率化や人員体制の整備に努めると回答がありました。また文書回答のB項目として「卒業後の余暇活動支援の充実」についても要望し、公民館やふれあいセンターでの余暇活動に障害者も参加しやすいよう関係機関と連携し配慮していくという回答がありました。



育成会の要望を説明される長島理事



育成会ボウリング大会



11月11日（日）に大橋町のラッキーボウルにて、育成会ボウリング大会が開催され、31名（本人29名、家族2名）の方がボウリングを楽しめました。昨年より会場がラッキーボウル（大橋町）となり、交通の便もよく家族の方の応援も増えて大変賑やかな催しとなりました。参加された皆さんは自分のスコアに一喜一憂しながら、仲間どうしプレイを楽しまれました。終了後は全員に参加賞と、1～3等賞、ラッキー7賞（上から7番目と下から7番目）、まん中賞、ブービー賞が贈られました。

参加された皆さん、前準備と当日のお手伝いをして下さった企画活動部の皆さん、お疲れさまでした。



優勝は谷山太一さん
大きなバッグに入った
優勝賞品をゲット！！



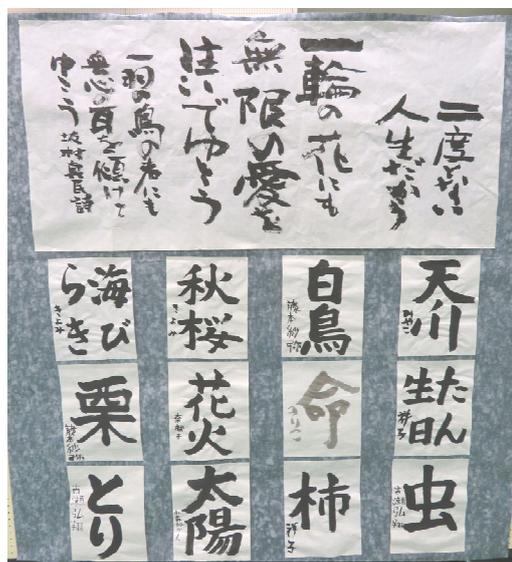
参加者全員で記念撮影！

平成30年度ハートセンター文化祭

平成最後のハートセンター文化祭が11月18日（日）にハートセンター3階体育館にて行われました。日頃、ハートセンターを利用している皆さんの発表の場として「ステージの部」と「作品展示の部」に分かれて発表されました。今年も長崎市手をつなぐ育成会、本人講座「書道教室・しゃぼんだま」から書道作品を展示発表しました。一年間の力作を展示するために、書きためた作品から力作を選び出す

作業、配置、共同作品制作と一人一人が頑張って作り上げたものを展示することが出来ました。その他にも、日頃の練習成果を盛大な拍手を受けながら発表する育成会会員さんたちの素晴らしいステージ発表を見ることが出来ました。

長崎一心会



書道教室・しゃぼんだま



車椅子ダンス
長崎フレンズ

おしらせ

習字



日時:第4土曜日

時間:午後1時~

場所:ハートセンター社会適応訓練室

会費:1回 500円

ただし12月は12/15に行います。

社会福祉法人

長崎市手をつなぐ育成会 広報部

長崎市大橋町 19-19

文教カテリーナ1F

Tel:095-845-5677

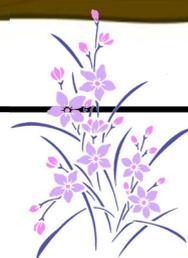
E-mail:tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

フラワーアレンジメント

日時:第2・第4土曜日 午前10:30~

場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室 会費:1回1300円

ただし12月は12/8(土)と12/28(金)に行います。12/28は2000円になります。



おたのしみクラブ

日時:12月16日(日)13時~15時 日時:1月20日(日)13時~15時

内容:クリスマスケーキ作り

内容:ゲーム大会

*参加費300円は翌月請求させていただきます。

*人数把握のためにお申し込みをお願いします。お申し込み・お問い合わせはハートセンター事務局まで。 ☎:847-1290

※計画は変更されることがありますので確認をしてから参加してください。

会員定例会

12月の定例会 12月 13日(木) 10:00~12:00

場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室 「親心の記録記入 パート④」

H31年1月の定例会 日にち未定 「障害年金の貯め方、増やし方(仮)」

新年親子の集い

平成31年は育成会60周年の記念の年となります。その第1弾として抽選会に60周年賞が登場!!

日時:平成31年1月12日(土)13:00~16:10 ところ:ハートセンター3F 体育室

新年会

日時:平成31年1月12日(土)18:00~20:00 ところ:ルークフラザホテル

会費:6000円 ●送迎もあります

お申し込みは12月17日(月)までにハートセンター事務局へ ☎847-1290

※センター事務局は平日午後のみ・木曜は休み